

財政係長から予算説明を受ける企画財政課長の川部裕佳さん(左)



13人の女性課長が行政分析

一日女性課長体験

11月22日、町内在住の女性を対象とした「一日女性課長体験」が行われ、公募で選ばれた13人が役場の業務にあたりました。女性の視点から行政を肌で感じてもらうと企画された本体験は、今年で4回目。辞令が交付された後、それぞれ13部署へと配属され、課内の担当係長から業務説明や現場視察などを体験したほか、来年度予算編成説明会に参加しました。企画財政課長を体験した川部裕佳さん(上野)は、「税金が町のために1円も無駄なく使われていて、役所のイメージが変わりました」と話していました。

「ありがとう」の感謝の気持ち

勤労感謝の日職場訪問

11月16日、上野保育園(小田芳子園長、40人)の園児が川口勝行さん(上野)の畑で芋掘りを体験しました。これは、川口さんの協力で毎年行われているものです。今年は民生委員児童委員児童福祉部会も参加してにぎやかに行われました。また19日には、勤労感謝の日を前に日ごろお世話になっている地域の人を訪問。芋まんじゅうをお土産に川口さん宅も訪問し、園児たちは地域の方の仕事を聞いて、感謝の気持ちを伝えました。数年前から芋掘り交流を続けている川口さんは「子どもたちの思い出しにてもらえたらうれしい」と話していました。



お世話になった川口さん家族と記念の一枚

五輪メダリストが人生熱弁

末續慎吾選手が御船中で講演

世界の大舞台で活躍する日本陸上短距離界トップランナーの末續慎吾選手(熊本市出身)が11月2日、御船中学校(加藤敬之校長、496人)で講演を行いました。これは、教育委員会の子どもたちに夢と感動をはぐくむ事業の一環。末續選手は、北京五輪男子陸上400メートルリレーの銅メダリストで、世界陸上やアジア大会など、国際大会で輝かしい記録と実績の持ち主です。講演は、生徒との対談で進行し、陸上を始めたきっかけ、学生時代の練習方法などを話しました。末續選手は、「できないことをやろうとする意志が大切。いろんなことに興味を持って、長く付き合うこと。好きになるように努力して、楽しくなる方法を考えること。恋愛や部活、勉強で自分にうそをつかないこと」と生徒へ生き方を熱く訴えかけました。



生徒からの質問に答える末續慎吾選手

岩下徹さんの即興ダンスを間近で見入る児童たち



創造性豊かな即興ダンス

七滝中央小でダンスワークショップ

国際的な舞踏グループで活躍する「山海塾」の岩下徹さんが11月15日、七滝中央小学校(村上孝利校長、63人)でダンスワークショップを開きました。岩下さんは道具や言葉を一切使わずに、全身で即興ダンスを披露すると、場内は児童たちから笑い声や驚きの声が飛びかかっていました。その後、児童たちも実際にダンスを体験。二人一組で空気人形に挑戦した2年の松本晃輔くん(七滝)と井藤天馬くん(上野)は、「(ダンスの)動きが楽しい。二人でやると面白いです」と自己流ダンスを楽しんでいました。

あなたが主役の地域のまつり

ふるさとふれあい木倉まつり

第18回ふるさとふれあい木倉まつりが11月23日、木倉小学校で開催され、地域内外の住民など約500人が演芸を堪能しました。この祭りは、木倉公民館と区長会が主催で毎年行われており、地域住民一人一人が主役です。祭りを盛り上げようと、この日の晴れ舞台のために練習をかさねた各種団体や各区からの出し物も趣向を凝らしたもののばかり。会場は拍手と笑いの渦に包まれていました。祭り主催者の田中恵三公民館木倉分館長は、「祭りは裏方のスタッフがいてこそ成功するもの。スタッフに感謝しています」と話していました。



ハワイアンダンスを披露した北木倉代表の皆さん



お神酒を飲み干して大杯を頭にかざす松永朋也さん

大杯飲み干し豊作に感謝

伝統行事「節頭まわし」

五穀豊穡や無病息災を山の神に感謝して、大杯につがれた酒を飲み干す祭り「節頭まわし」が12月5日、滝尾地区玉虫で行われました。祭りは、江戸時代に神田で収穫した米を奉納後、豊作に感謝して酒を造ったことが始まり。神事後、約20人が玉虫公民館に集まり開宴。用意された大杯に酒が一升三合三勺(約2.4ℓ)注ぎこまれ、男衆による回し飲みが始まります。最初に挑戦したのは上組で、中組、下組と続きます。年輩者から順番に飲み、各組最後の一人が飲み干し、大杯を頭にかざすと、その豪快な飲みっぷりに盛んな拍手が送られていました。今年、祭り初参加の松永勝博さん(33歳)は、「前の人が多く飲んでくれて助かりました。地域の伝統を自分たちが伝えていければうれしいです」とほろ酔い気分で話していました。